

【リデュース】（軽量化・薄肉化）

①一本当たりの重量変化

2012年実績として、基準年（2004年）対比で1本当たり2.1%の軽量化がはかられた。

1本当たりの単純平均重量は基準年（2004年）の192.3gに対し、2011年実績は179.0gと6.9%（13.3g/本）の軽量化がはかられたが、これにはびん容量構成比の変化が含まれているため、その要素を除いたネットの軽量化率は2.1%（4.0g/本の軽量化）となった。【表1】

残りの4.8%（9.3g/本）はびん容量構成比の変化によるものである。

なお、基準年（2004年）対比での軽量化による資源節約量は、2007年～2012年（6年間）で、129,143トン（100mlドリンク剤びん換算 12億5382万本）となった。

【表1】1本当たりの平均重量推移

	2004年 (基準年)	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
本数（千本）	7,262,950	7,049,797	6,846,912	6,653,700	6,771,964	6,875,461	6,610,045
重量（トン）	1,396,582	1,313,830	1,266,242	1,213,075	1,222,525	1,230,174	1,182,952
単純平均重量 （g/本）	192.3	186.4	184.9	182.3	180.5	178.9	179.0
ネット軽量化率指標 （加重平均）	100.0	98.7	98.6	98.2	98.3	98.0	97.9
軽量化による 資源節約量(トン)	—	17,305	17,979	22,236	21,142	25,106	25,375

②軽量化実績

2012年に新たに軽量化された商品は、6品種17品目であり、軽量化重量は649トンであった。

2006年から2012年までに軽量化された商品は、11品種164品目となった。【表2】

なお、軽量化実績の捉え方は、前年と同容量で軽量化された品目について限定しており、容量変更が伴う場合や、新製品の軽量びんは対象外としている。

【表2】2006年から2012年までに軽量化された品目

品 種	のべ品目数
小びんドリンク	小びんドリンク（4品目）
薬びん	細口びん（2品目）、広口びん（1品目）
食料品びん	コーヒー（17品目）、ジャム（6品目）、粉末クリーム（2品目）、食用油（2品目）、蜂蜜（1品目）、食品（4品目）
調味料びん	たれ（7品目）、酢（11品目）、ソース（2品目）、新みりん（2品目）、つゆ（7品目）、調味料（13品目）、ケッチャップ（1品目）、醤油（2品目）
牛乳びん	牛乳（5品目）
清酒びん	清酒中小びん（23品目）
ビールびん	ビール（2品目）
ウイスキーびん	ウイスキー（4品目）
焼酎びん	焼酎（15品目）
その他洋雑酒びん	ワイン（18品目）、その他（1品目）
飲料びん	飲料ドリンク（4品目）、飲料・サイダー（4品目）、ジュース（4品目）